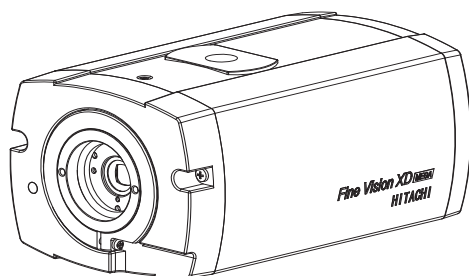
取扱説明書

日立監視用ネットワークカメラ

DI-CS211

このたびは、日立監視用ネットワークカメラをお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

付属品をご確認ください

付属品	お買い上げのお客様へ	：1 枚
	保証書	：1 式

もくじ

1 はじめに

2 設置と調節

3 ソフトウェアについて

4 故障かな・・と思ったら

5 仕　様

商品の特長

パソコンでの監視が可能

日立ハイブリッドレコーダーと接続 (*1) することで映像の確認／記録ができるほか、ソフトウェアを用いることで、パソコン上でも映像の確認 (*2)、カメラの設定 (*3) が可能になります。

*1: 条件があります。詳細は「接続できるハイブリッドレコーダーについて」(→ 6 ページ）をご覧ください。

*2: 遠隔監視ソフトウェア「Fine Vision XD Viewer」が必要です。日立ハイブリッドレコーダー本体内よりダウンロードしてご使用ください。

*3: 遠隔設定ソフトウェア「ネットワークカメラ設定ツール」が必要です。お買い上げの販売店または問い合わせ窓口（→ 39 ページ）までご相談ください。

CS マウントを採用

CS マウントの採用により、撮影環境に合わせてレンズ（別売品）を選ぶことができます。接続確認レンズは標準、広角、長焦点、高倍率の４種類があり、撮影環境に合わせてレンズを組み合わせることで、最適な画角で撮影できます。

プログレッシブ走査の CCD 撮像素子を搭載

DI-CS211 は約 125 万画素のプログレッシブ走査 CCD 撮像素子を搭載していますので、高精細な映像で監視が可能です。

高画質な画像伝送

デュアルコーデック LSI の採用により、動画は高画質・高圧縮な H.264 形式で、静止画は高画質な JPEG 形式で、画像伝送が可能です。

※音声記録には対応しておりません。

画像認識機能を装備

画像認識方式を用いて、ドアの開閉などの「動き」や不審物が長時間置き去りにされている「滞留」を検知し、その情報を日立ハイブリッドレコーダーに送ることができます。

PoE に対応

LAN ケーブルを介して電源を供給する技術「PoE（Power over Ethernet)」に対応しています。PoE HUB などの PoE（IEEE802.3af 準拠）対応の電源供給装置に接続することで、カメラ電源の供給と画像の伝送ができるため、カメラの電源工事が不要となります。

※ AC アダプターには対応しておりません。

帯域制御機能を搭載

ネットワーク上の負荷を軽減するため、カメラから日立ハイブリッドレコーダーに送られるデータ量を制御（ON/OFF 切り換え）することができます。

※ H.264 形式での画像伝送時のみ、帯域制御が行えます。

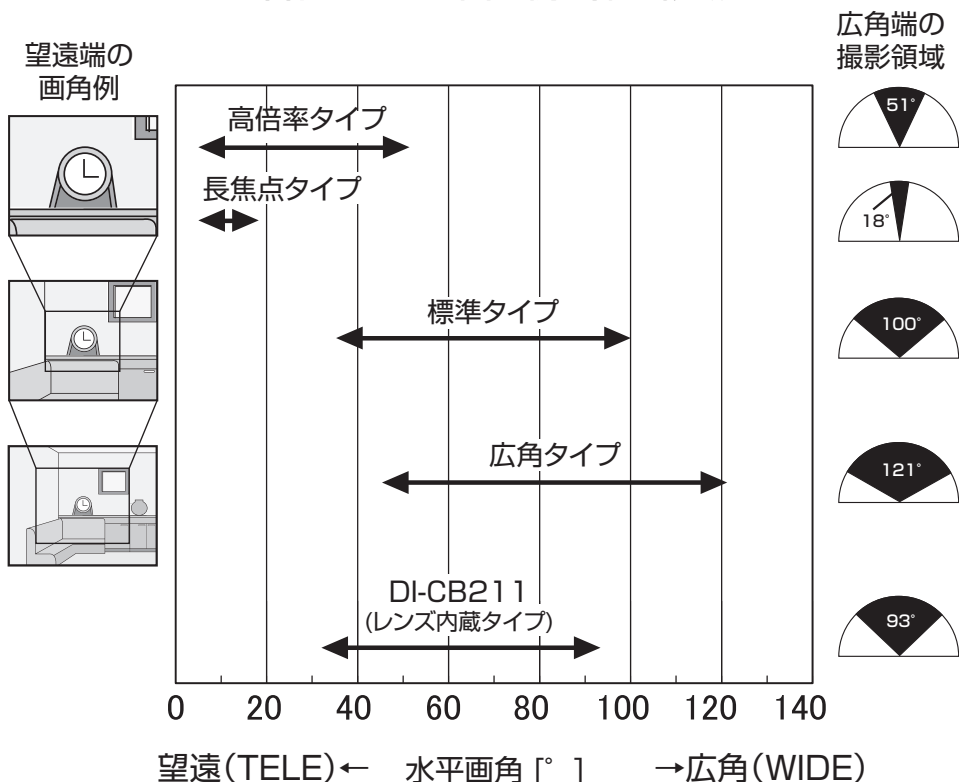
レンズの選び方

DI-CS211 の最大の特長は、用途に合わせてレンズを選択できることです。125 万画素 CCD の性能を十分に引き出すためには、接続確認レンズをご使用ください。

接続確認レンズ

レンズマウント	CS マウント			
レンズの種類	標準タイプ	広角タイプ	長焦点タイプ	高倍率タイプ
型式	YV2.8× 2.8SR4A-SA2	YV2.7× 2.2SR4A-SA2	YV3.3× 15HR4A-SA2	YV10× 5HR4A-SA2
焦点距離（倍率）	2.8 ～ 8mm （2.8 倍）	2.2 ～ 6mm （2.7 倍）	15 ～ 50mm （3.3 倍）	5 ～ 50mm （10 倍）
水平画角 （WIDE 端）	100° 34'	121° 4'	18° 29'	51° 17'

これらのレンズは、下図のように様々な画角をカバーできます。

各種レンズの画角例と撮影領域

用途に合わせたレンズ選びのヒント

以下のような用途に合わせて、レンズをお選びください。

- 広範囲を撮影したい場合は「広角タイプ」のレンズをお選びください。
- カメラの設置位置から被写体の距離が離れている場合は、「長焦点タイプ」や「高倍率タイプ」のレンズをお選びください。
- カメラの設置後に被写体の距離や画角の変更がある場合は、画角の自由度が高い「高倍率タイプ」のレンズをお選びください。

ご注意

- 広角タイプは、レンズが張り出しているため、思わぬ方向から光源の影響を受け、ゴーストやフレア（→ 12 ページ）が発生する場合があります。ゴーストやフレアが発生しないように注意して画角を調節してください。
- 画角の広い標準タイプや広角タイプをハウジングへ組み込む場合に（→ 20 ページ）、カメラのズーム（画角）を広角に設定するときは、ハウジングのひさしが映り込まないように注意してください。映り込むときは、ズームを望遠側に設定するか、ハウジングのひさしを後方へ移動してください（ひさしが可動式のもののみ）。
- 長焦点タイプや高倍率タイプは、遠近両方の被写体に対し、同時にピントを合わせる事が難しい場合があります。
- 接続確認レンズと異なるレンズを使用された場合には、本製品の性能が著しく低下する場合があります。

接続確認レンズに関する商品情報やお取り扱いについてのご相談は

富士フイルム株式会社　光学デバイス事業部

TEL　048 − 668 − 2152

FAX　048 − 651 − 8517

（受付時間）　9:00〜18:00　（月〜金）

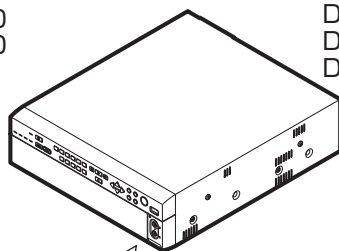
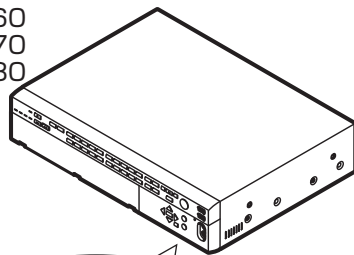
日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など休日は休ませていただきます
携帯電話、PHS からもご利用できます

接続できるハイブリッドレコーダーについて

お買い上げの日立監視用ネットワークカメラを日立ハイブリッドレコーダーに接続する際は、日立ハイブリッドレコーダーの製品前面（右下）に表示されている製造番号をご確認ください。
下記の製造番号より前の日立ハイブリッドレコーダーに本製品を接続する際は、必ずお買い上げの販売店または下記問い合わせ窓口にソフトウェアの更新をご依頼ください。

「型　式」	製造番号
「DS-JH260」	11201348
「DS-JH270」	20100641
「DS-JH560」	20200341
「DS-JH570」	11200281
「DS-JH580」	20200135

修理などアフターサービスに
関するご相談は
TEL 0120 − 3121 − 68
FAX 0120 − 3121 − 87
（受付時間）9:00 ～ 19:00(月～土)
9:00 ～ 17:30(日･祝日)
携帯電話、PHS からもご利用できます

製品前面（右下）の製造番号の表示

XXXXXXXX: 製造番号

販売店の方へ（アフターサービスご担当者様へ）
ハイブリッドレコーダーは、該当する機種のサービスガイドを参照してソフトウェアを更新してください。ソフトウェアを更新することで本製品が認識されるようになります。

商標と商標登録

Intel®、Intel® Core™ は米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Server®、Internet Explorer®、ActiveX®、DirectX® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。

その他、各会社名・各製品名は各社の登録商標、商標、または商品名称です。

遠隔監視ソフトウェア「Fine Vision XD Viewer」のインストール前に必ずお読みください

本ソフトウェアのインストール、または使用をもって、本「使用許諾契約書」をご承諾いただき、使用許諾契約が成立したものとさせていただきます。
ご承諾頂けない場合は、本ソフトウェアのインストール、使用を許諾できません。
ソフトウェアの詳細は 28 ページをご覧ください。

● 著作権
本ソフトウェアとその付属品についての著作権は、株式会社日立製作所 (以下「弊社」) が有するものであり、日本およびその他の国の著作権法ならびに関連する条約によって保護されています。
● 許諾
お客様 (個人または法人のいずれであるかを問いません) ご自身、またはお客様ご自身から委託された人物ないし機関が、日立ハイブリッドレコーダーおよび日立監視用ネットワークカメラにて配信される画像を処理する場合に限り、契約で決められた台数のパソコンにインストールできるものとします。
● その他の条件
① お客様は、本ソフトウェアを複製することはできません。
② お客様は、本ソフトウェアを販売、譲渡、貸出、その他の方法で第三者に使用させることはできません。
③ お客様は、いかなる方法によっても、本ソフトウェアの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。
● 免責
弊社は、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害についても、一切責任を負わないものとします。

上記内容に同意していただいた上で、本ソフトウェアをご使用ください。
上記内容に違反した行為があった場合には、ただちに本ソフトウェアの使用を中止していただきます。

個人情報の保護

本製品を用いたシステムで撮影・記録された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」(*1) に該当します。
映像情報は、法律にしたがって適正にお取り扱いください。

*1: 経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における「個人情報に該当する事例」をご覧ください。

ネットワーク利用に関する注意事項

本製品をネットワークへ接続して使用する場合、次のような被害を受けることが考えられます。

① 本製品を経由した情報の漏えい・流出
② 悪意を持った第三者による不正操作、妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任のもと、次のような対策を含めたネットワークセキュリティ対策を必ず行ってください。

- ファイアウォールなどで安全性の確保されたネットワーク上で本製品を使用する。
- パソコンが接続されているシステム上で本製品を使用する際は、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- 映像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、各種サーバー情報などをネットワーク上に漏えいさせない。
- 本製品やそのケーブルなどを容易に破壊される場所に設置しない。

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。 お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

- 絵表示について

この取扱説明書では、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷（※ 1）を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害（※ 2）を負う可能性が想定される内容および物的損害（※ 3）のみの発生が想定される内容を示しています。

※ 1 重傷.............失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※ 2 傷害.............治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※ 3 物的損害 .....家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

- 絵表示の例

⦸記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

異常なときは使わない

- 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災の原因となります。すぐに PoE 電源供給装置（PoE HUB など）の電源プラグをコンセントから抜くなどして、電源を切ってください。その後、煙が出なくなることを確認して、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

水にぬらさない

- 水などが内部に入った場合は使用をやめ、PoE 電源供給装置（PoE HUB など）の電源プラグをコンセントから抜くなどして電源を切ったあと、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災の原因となります。
- 水がかかりそうな場所に設置するときは、カメラハウジングなどでカメラを保護してください。カメラ単体で設置して内部に水が入った場合、火災の原因となります。

1　はじめに

⚠警告

異物を入れない

- 内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、入れたりしないでください。火災の原因となります。
- 異物が入った場合は、PoE 電源供給装置（PoE HUB など）の電源プラグをコンセントから抜くなどして電源を切ったあと、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災の原因となります。

落下のおそれのある場所に設置しない

- カメラの重量に耐えられないような、もろい材質が使われている場所や、不安定な場所に設置しないでください。落下してけがの原因となります。

PoE 非対応の電源供給装置を使わない

- 必ず PoE 対応の電源供給装置（PoE HUB など）をお使いください。PoE 非対応の電源・電圧で使用すると、火災の原因となります。

引火性ガスが発生する場所に設置しない

- 発火の原因となります。

分解・改造しない

- 火災の原因となります。

風呂場では使用しない

- 火災・感電の原因となります。

落としたり、ケース／カバー類を破損させない

- カメラを落としたときや、ケース／カバー類を破損したときは、正常に動作しているように見えても、内部に異常がある場合があります。PoE 電源供給装置（PoE HUB など）の電源プラグをコンセントから抜くなどして電源を切ったあと、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災の原因となります。

⚠注意

湿気やほこりの多い場所に設置しない

- 火災の原因となることがあります。

油煙や湯気が当たる場所に設置しない

- 調理台や加湿器のそばに設置しないでください。火災の原因となることがあります。

ケースやカバー類を開けない

- ケースやカバー類を開けないでください。内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

接続コードをつないだ状態で移動しない

- 移動させるときは、接続コードを抜いてから移動してください。つながったまま移動すると、接続コードが傷つき、火災の原因となることがあります。

<table>
<tr><th colspan="2">⚠注意</th></tr>
<tr><td></td><td>放熱を妨げない
• 内部に熱がこもると、火災の原因となることがあります。指定外のところにテープやシールなどを貼り付けないでください。
• できるだけ風通しの良いところに設置してください。
• 布類をかけないでください。</td></tr>
<tr><td>
</td><td>接続コードを傷つけない
• 接続コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりするとコードが破損し、火災の原因となることがあります。
• 接続コードを敷物などでおおわないでください。コードに気づかず、重いものをのせてコードを傷つけることがありますのでご注意ください。火災の原因となることがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>傷んだ接続コードを使用しない
• 接続コードの心線が露出したり、断線したときはお買い上げの販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>接続コードを熱器具に近付けない
• 接続コードの被覆が溶けて、火災の原因となることがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>ぬれた手でプラグを抜き差ししない
• 感電の原因となることがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>お手入れするときは電源を外す
• 安全のため、PoE 電源供給装置（PoE HUB など）の電源プラグをコンセントから抜いてお手入れしてください。</td></tr>
<tr><td></td><td>長期間ご使用にならないときは電源を外す
• 安全のため、必ず PoE 電源供給装置（PoE HUB など）の電源プラグをコンセントから抜いてください。</td></tr>
<tr><td>⚠</td><td>保守点検について
• 保守点検は販売店にご相談ください。本製品内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に保守点検されることをおすすめします。なお、保守点検の費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。</td></tr>
</table>

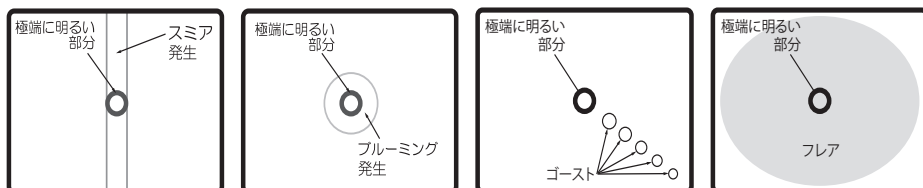
使用上のご注意

取り扱いはていねいに

落としたり強い衝撃または振動を与えたりしないでください。故障の原因になります。

太陽や強い光（スポットライト）へ向けたままにしない

- 太陽光やスポットライト光を長期間撮影することにより、撮像素子内部のフィルターが劣化し、光があたっていたところが変色（焼付き）することがあります。固定していたカメラの向きを変えたときなどに目立つことがあります。
- 画面の一部に周囲より極端に明るい部分があるとスミア (*1) やブルーミング (*2)、ゴースト (*3)、フレア (*4) を生じることがあります。ただし、ゴーストとフレアについては、画面内に極端に明るい部分がない場合でも現象が発生する場合があります。

  *1: 極端に明るい部分の上下に縦線が生じる現象です。
  *2: 極端に明るい部分の周囲がにじむ現象です。
  *3: 画面内に円形状の模様が生じる現象です。
  *4: 画面の一部または全体が白っぽくなる現象です。

シャッター速度について

記録した映像を再生した際、動いている被写体がブレてしまうときは、シャッター速度が速くなるように設定してください。
工場出荷時、DI-CS211 のシャッター速度は 1/30 秒に設定されていますので、1/60 ～ 1/100 秒程度に設定してください。
設定変更は日立ハイブリッドレコーダー、またはパソコン（ネットワークカメラ設定ツール）から行います。設定方法はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。
ただし、シャッター速度を速く設定すると画面が暗くなり、スミアやフリッカー (画面がちらつく現象) が強調されやすくなります。必ず、記録した映像の再生確認をしてからシャッター速度を設定してください。

フリッカー（画面がちらつく現象）について

LED 照明の下で撮影した場合、LED 照明の制御方式によって、フリッカーが発生することがあります。
その場合は、下記のように設定してください。

- 50Hz 地域（東日本）: シャッター速度を 1/100 に設定
- 60Hz 地域（西日本）: シャッター速度を 1/60 に設定

設定変更は日立ハイブリッドレコーダー、またはパソコン（ネットワークカメラ設定ツール）から行います。設定方法はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

時計精度について

カメラの時計精度は月差± 60 秒（25℃環境で使用された場合の参考値）です。日立ハイブリッドレコーダーにつなげてお使いになると、1 時間に 1 回時刻調整するため、時刻ずれはほとんど生じません。精度が必要な場合は、日立ハイブリッドレコーダーを電波時計やＮＴＰサーバへ接続し、時計設定を行ってください。

接続機器の取り扱いについて

本製品につなげてお使いになる機器の取扱説明書と、その「注意事項」もよくお読みください。

接続確認レンズについて

本製品に取り付けてお使いになる接続確認レンズの取扱説明書と、その「注意事項」もよくお読みください。接続確認レンズと異なるレンズを使用された場合には、本製品の性能が著しく低下する場合があります。

お手入れについて

レンズ面にほこりや汚れなどがつくと映像がきれいに映りません。ほこりや汚れなどがついた場合は、やわらかい布などを使って軽くふきとってください。

― お願い ―

- カメラのケースをふくときは強くこすらないでください。キズが生じることがあります。
- カメラのケースをベンジンやシンナーなどでふかないでください。塗装がはげたり変質することがあります。
- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞って汚れをふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- ケースに殺虫剤などの揮発性のものをかけないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってご使用ください。

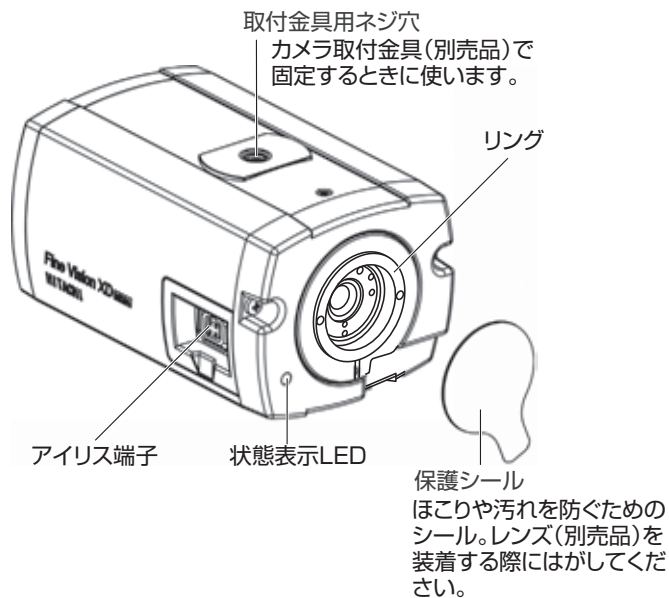
外国では使わない

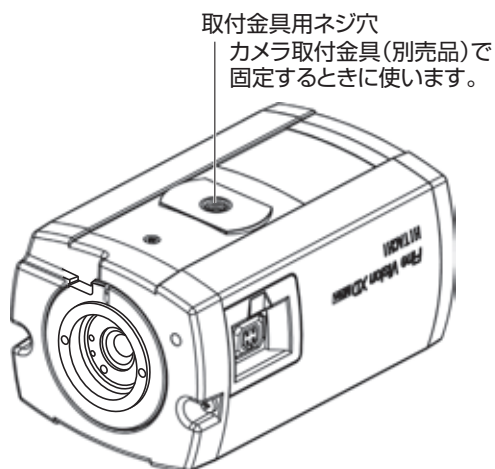
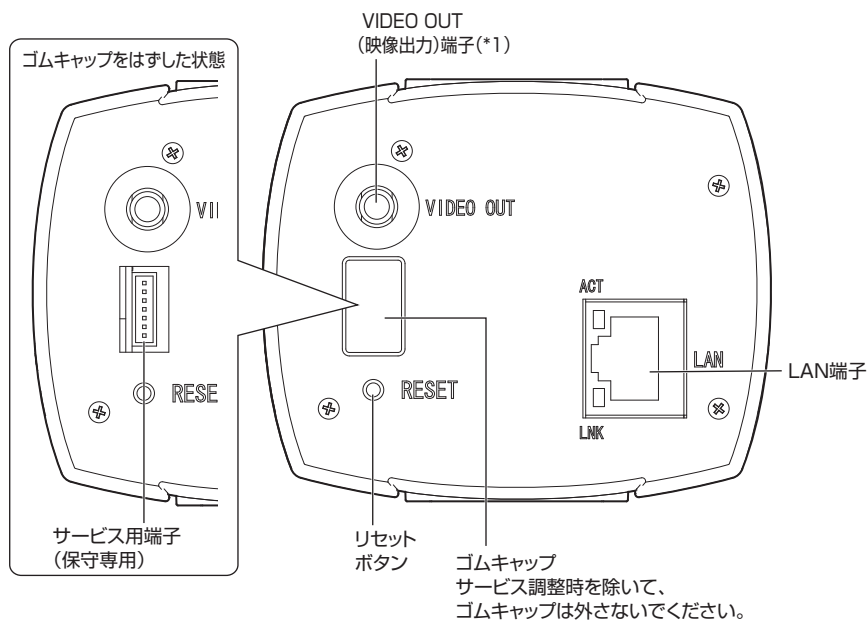
このカメラは日本国内用です。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

<This video camera cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.>

日立監視用ネットワークカメラの故障もしくは不具合により発生した映像の損失および付随的損害（営業損失などの補償）などの責については、ご容赦ください。

各部のなまえ

前 面

状態表示 LED (赤)：電源が投入されると点滅し、ネットワークの通信が確立すると消灯します。
また、機器の異常が発生した場合、点滅を続けます。消灯しない場合は「カメラが故障かな・・」(→３５ページ）をご覧ください。

底 面

背 面

*1：VIDEO OUT（映像出力）端子は、設置時に画角とピントを合わせるためのモニターを接続する端子です。

1　はじめに

リセットボタンのはたらき

リセットボタンは、カメラの電源が投入されているときのみ動作します。

用　途	操　作
ピント調節モード（→ 23 ページ）から通常の状態に戻します。 VIDEO OUT(映像出力) 端子にモニターを接続するか、リセットボタンを１回押すと再度２分間ピント調節モードに移行します。 ピント調節モードでは､レンズの絞り (アイリス) が開放状態となり､ピント調節アシストバーと、FOCUS BAROMETER が表示されます。（右記操作を行わなくても、ピント調節モードに移行後約 2 分で通常の状態に戻ります。）	1 回押す
主にパソコンへ接続するときに操作します。 状態表示 LED が点滅した後、再起動して IP アドレスが「192.168.0.100」になります。他の設定は工場出荷時の状態に戻ります。	約 10 秒間押し続ける
主にハイブリッドレコーダー (DS-JH シリーズ) へ接続するときに操作します。 状態表示 LED が点滅した後、再起動して、IP アドレスを工場出荷時の「0.0.0.0」に戻します。 （他の設定は工場出荷時の状態には戻りません｡） DS-JH シリーズは、ネットワークカメラを複数台接続するときの IP アドレス設定作業が軽減できるように、自動で IP アドレスを割り当てる機能を搭載しています。ただし、ネットワークカメラの IP アドレスが「0.0.0.0」になっていないと割り当てることができません。 (詳細は DS-JH シリーズの取扱説明書をご覧ください。)	5 秒以内に 3 回押す

設置上のご注意

次のような場所には設置しないでください。

強い電波や磁気のあるところ

電波塔の近くやモーターを使った電気製品のそばなど、強い電波や磁気の発生するところで使用すると、映像がゆがんだりすることがあります。

極端に高温や低温のところ

使用温度範囲（→ 40 ページ）外のところでは使用しないでください。
画質の低下や故障の原因になります。

ほこりや湿気の多いところ

カメラ内部にほこりが入ると故障の原因になります。
また湿気が多いと、レンズにカビが発生する原因になります。

油煙や湯気が当たるところ

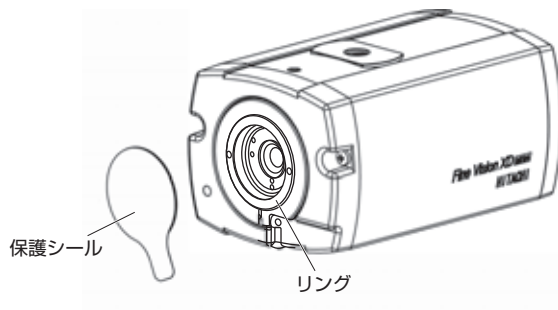
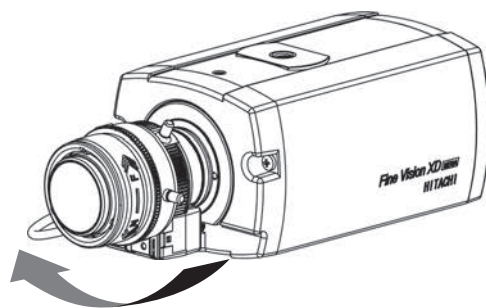
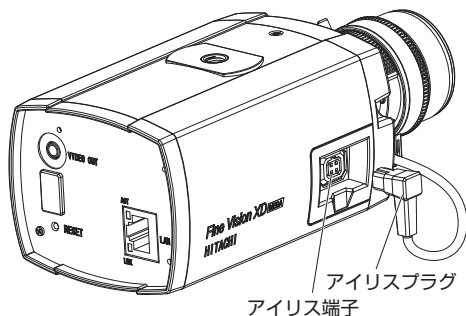
カメラ内部に油や水が入ると故障の原因になります。

屋外に設置する場合

屋外に設置する際は、必ず屋外用ハウジング（別売品）をご使用ください。雨水などがカメラ内部に入ると故障の原因になります。

レンズを取り付ける

取り付けるレンズの種類によって、レンズの形状が異なります。以下は４ページに記載の標準タイプのレンズで説明します。

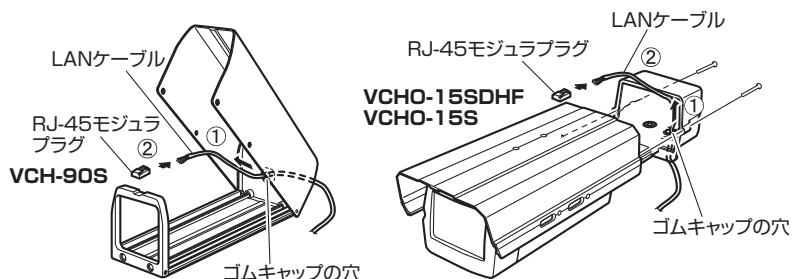
①リングから保護シールを外します。

②レンズを矢印の方向に回してカメラへ取り付けます。
このときレンズが回らなくなるまでしっかりと締め付けてください。

③レンズのアイリスプラグをカメラのアイリス端子に接続します。

ご注意

- レンズ取付け時には、手で触れるなどしてレンズのガラス面を汚さないよう、ご注意ください。レンズのガラス面が汚れた場合には、やわらかい布などを使って軽くふきとってください。
- レンズの取り付け作業は、安全のため低い場所にて行ってください。やむを得ず、高い場所で取り付け作業を行う場合は、真下に人がいないことを確認の上、落下防止を十分行ってください。
- アイリスプラグがアイリス端子に届かない場合は、締め付けがゆるまない範囲で取り付け方向と逆方向に回して、距離を調節してください。
- アイリスプラグを取り外す場合は、プラグをつまんで真っすぐ引いてください。ケーブルを持って引っ張ったり、プラグをひねって取り外したりしようとすると、プラグやケーブル、端子が破損することがあります。

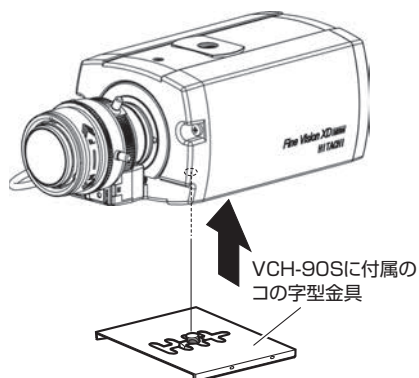
2　設置と調節

■ 屋内用／屋内外用ハウジングへ組み込むとき

屋内用ハウジング (VCH-90S) や屋内外用ハウジング (VCHO-15SDHF/VCHO-15S) へ組み込む際は、次のことに注意してください。

- LAN ケーブルへの RJ-45 モジュラプラグ取り付けは、LAN ケーブルをハウジングのゴムキャップの穴に通してから行ってください。ゴムキャップの穴が小さく、先端に RJ-45 モジュラプラグが取り付けられている LAN ケーブルは通りません。

- ハウジング利用時の使用温度範囲は下記になります。

型　　式	使用温度範囲
ＶＣＨ－９０Ｓ	－１０℃～４５℃
ＶＣＨＯ－１５Ｓ	
ＶＣＨＯ－１５ＳＤＨＦ	－１５℃～４５℃

- カメラのズーム (画角) を広角に設定するときは、ハウジングのひさしが映り込まないように注意してください。映り込むときは、ズームを望遠側に設定するか、ハウジングのひさしを後方へ移動してください（ひさしが可動式のもののみ）
- 屋内用ハウジング (VCH-90S) には、カメラ取り付け金具が２つ（コの字型と H 型）付属されています。
  DI-CS211 を組み込む際は、コの字型金具をご使用ください。

設置から調節までの手順

下記の手順に従って、カメラを設置・接続・設定・調節してください。

ご注意

- カメラの設置および接続は、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。お客様ご自身での設置および接続は事故や故障の原因になります。

レンズを取り付けます【→ 18 ページ】

カメラを設置します【→ 22 ページ】

PoE 電源供給装置（PoE HUB など）に接続します【→ 22 ページ】

PoE 電源供給装置（PoE HUB など）とハイブリッドレコーダー（DS-JH シリーズ）またはパソコンを接続します【→ 22 ページ】

画角とピントを合わせます【→ 23 ページ】

必要に応じて、カメラの各種調節や設定をハイブリッドレコーダーまたはパソコンから行います。

※ ハイブリッドレコーダー（DS-JH シリーズ）から調節・設定するときは、ハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

※ パソコンから映像を確認する際は、遠隔監視ソフトウェア「Fine Vision XD Viewer」の「manual.chm」（→ 28 ページ）をご覧ください。
調節・設定するときは、遠隔設定ソフトウェア「ネットワークカメラ設定ツール」の「取扱説明書」（PDF）をご覧ください。遠隔設定ソフトウェアについては、お買い上げの販売店または問い合わせ窓口（→ 39 ページ）までご相談ください。

設置のしかた

1 カメラを設置する場所を決めます。

2 LAN ケーブルおよび必要なケーブルをカメラ設置場所まで配線します。

3 LAN 端子に LAN ケーブルを接続します。

LAN ケーブルは、8 極 8 心の RJ-45 モジュラプラグ付き、カテゴリ 5e 準拠の UTP ストレートケーブルを、100m 以内でご使用ください。

ハイブリッドレコーダー・パソコンへの接続

■ PoE 電源供給装置（PoE HUB など）を介して接続するとき

PoE 電源供給装置（PoE HUB など）は、100Base-TX/1000Base-T 対応の機器をご使用ください。

お知らせ

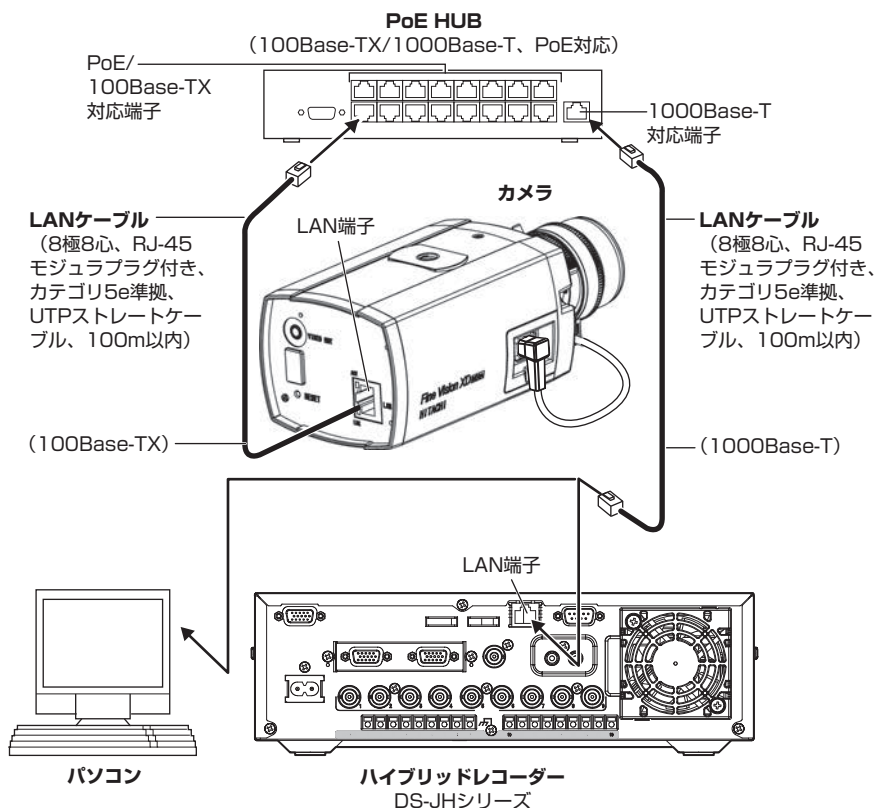
• PoE 電源供給装置（PoE HUB など）を使用する際は「接続確認機器について (→ 27 ページ)」をご覧ください。

1 カメラからの LAN ケーブルを PoE 電源供給装置（PoE HUB など）に接続します。

2 ハイブリッドレコーダーへ接続するための LAN ケーブルを PoE 電源供給装置の 1000Base-T 対応端子に接続します。

LAN ケーブルは、8 極 8 心の RJ-45 モジュラプラグ付き、カテゴリ 5e 準拠の UTP ストレートケーブルを、100m 以内でご使用ください。

3 PoE 電源供給装置（PoE HUB など）の電源コードをコンセントに差し込みます。

4 PoE 電源供給装置 (PoE HUB など) からの LAN ケーブルをハイブリッドレコーダー (DS-JH シリーズ) の LAN 端子またはパソコンの LAN 端子に接続します。

画角とピントの調節

モニターをご用意ください。

1 VIDEO OUT(映像出力)端子にモニターを接続します。

VIDEO OUT 端子にモニターを接続すると、ピント調節モードに移行してレンズの絞り（アイリス）が開放状態になり、モニター画面上に「ピント調節アシストバー」と「FOCUS BAROMETER」が表示されます。

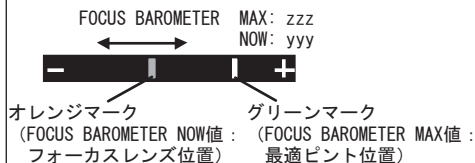
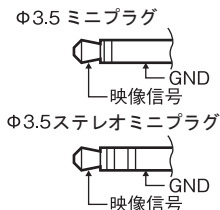
お知らせ

- ピント調節モードはモード移行後約 2 分で自動的に解除され、ピント調節アシストバーも消えます。モニターを再接続するかリセットボタンを 1 回押すと再度2分間ピント調節モードに移行します。
- モニターを接続した状態でカメラに電源を供給した場合、ピント調節モードには移行しません。モニターを再接続するかリセットボタンを 1 回押すと再度2分間ピント調節モードに移行します。

ピント調節アシストバー

```
FOCUS BAROMETER  MAX: zzz
                 NOW: yyy
←――→
[ −  ▮      ▮  + ]
```

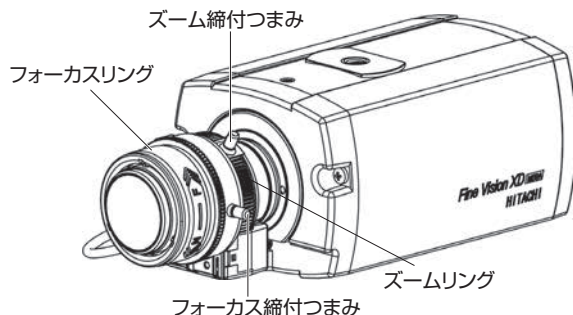
オレンジマーク
（FOCUS BAROMETER NOW値：
フォーカスレンズ位置）

グリーンマーク
（FOCUS BAROMETER MAX値：
最適ピント位置）

VIDEO OUT(映像出力)端子適合プラグ

2 **被写体（監視する場所と物など）がモニター上の中央に映るよう、カメラの設置角度を調節します。**

3 **被写体が適切な大きさで鮮明に映るよう、ズームリングとフォーカスリングで調節します。**

ズームリングとフォーカスリングは、レンズによって異なります。レンズの取扱説明書をご覧ください。以下は４ページに記載の標準タイプのレンズで説明します。
ズームリングとフォーカスリングは、それぞれの締付つまみでロックされています。調節するときは締付つまみを回しロックを解除してください。
ピントの調節は次の①～③の手順で行ってください。

ご注意
- 締付つまみに無理な力を加えないでください。締付つまみが折れることがあります。
- 調節した後は、ズームとピントがずれないように注意して、締付つまみをロックしてください。
ロックしないと振動などでズームやピントがずれることがあります。

① 一度フォーカスリングをピント調節範囲の端から端まで動かします。
「ピント調節アシストバー」上のグリーンマーク（FOCUS BAROMETER MAX 値）が自動的に最適ピント位置を示します。
② フォーカスリングを調節し、オレンジマーク（FOCUS BAROMETER NOW 値）がグリーンマークに近づくようにします。
③ 映像を見てピントが合っているかどうかの最終確認を行ってください。ピントがずれているときは、フォーカスリングを調節してください。

ご注意

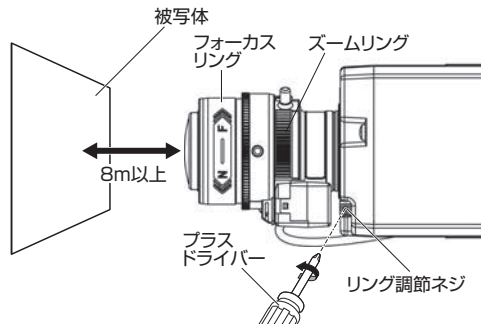
・ピント調節時、被写体に動きがある場合や、設置環境、照明環境などにより「ピント調節アシストバー」のグリーンマーク（FOCUS BAROMETER MAX 値）が安定しないことがあります。「FOCUS BAROMETER」の値はあくまで参考値として必要に応じてお使いください。

④ VIDEO OUT(映像出力) 端子からモニターをはずします。

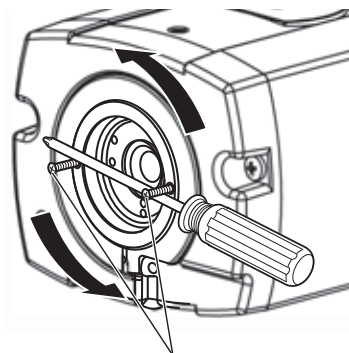
バックフォーカスの調節方法

通常はバックフォーカスの調節は必要ありません。
レンズのフォーカスリングを回しても全くピントが合わないときのみ、次の方法でバックフォーカスを調節してください。

ズームリングとフォーカスリングはレンズによって形状、位置、回転方向、表記などが異なります。
また調節方法もレンズによって異なりますので、必ずレンズの取扱説明書をよくご覧の上、調節してください。

以下は４ページに記載の標準タイプのレンズについて説明します。
①カメラ側面のリング調節ネジをゆるめる（矢印の向きに回します）。
②映像を見ながらバックフォーカスを調節する。
　1. レンズのズームリングを TELE 側一杯に回す。
　2. レンズのフォーカスリングを FAR 側一杯に回す。
　3. 無限遠（8m 以上）の被写体を写す。
　4. 被写体のピントが合うように、レンズとリングを同時に回してピントを調節する。
③リング調節ネジを締付ける。

こんなときは

■リング調節ネジをゆるめても、きつくてリングが回らないとき

レンズを一度はずし、リング前面のネジ穴にM2ネジを2本取り付け、ドライバーなどで図のように引っかけてリングを回します。

ご注意

- 作業時にリングのネジ山でけがをしないように、手袋を着用の上、作業してください。
- 作業時にレンズのガラス面、カメラのガラス面に汚れが付着しないようにご注意ください。
- バックフォーカスの調節作業を高い場所で行う場合は、真下に人がいないことを確認の上、レンズ、ネジなどの落下防止を十分行ってください。

設置後の確認

設置後、次のことを確認してください。

- カメラにガタツキがありませんか？
- 画角とピントが合っていますか？

設置後の各種調節と設定について

カメラの各種調節・設定は、すべて接続されているハイブリッドレコーダーまたはパソコンから行います。

※ ハイブリッドレコーダー（DS-JH シリーズ）から調節・設定するときは、ハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

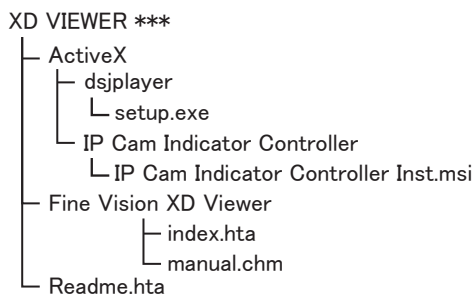
※ パソコンから映像を確認する際は、遠隔監視ソフトウェア「Fine Vision XD Viewer」の「manual.chm」（→ 28 ページ）をご覧ください。
調節・設定するときは、遠隔設定ソフトウェア「ネットワークカメラ設定ツール」の「取扱説明書」（PDF）をご覧ください。遠隔設定ソフトウェアについては、お買い上げの販売店または問い合わせ窓口（→ 39 ページ）までご相談ください。

接続確認機器について

- 接続確認を行った機器に関する最新情報は下記サイトをご覧ください。
http://www.hitachi.co.jp/bouhan/
- 接続確認機器リストに記載している機器であっても、すべての条件下で確認を行っているわけではありません。また、お使いになる個々の機器の動作を保証するものではありません。
- 接続確認機器リストに記載している機器をご使用の結果生じた製品、機器の故障、映像の消失および付随的損害（営業損失などの補償）などの責についてはご容赦ください。

3　ソフトウェアについて

概　要

遠隔監視ソフトウェア「Fine Vision XD Viewer」はハイブリッドレコーダーよりダウンロードできます。
ダウンロードの方法は 30 ページ、またはハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご参照ください。
ダウンロードした XD VIEWER ***.exe を実行して解凍したファイル内の構成は、以下のとおりです。
（*** はバージョンに対応する数値です。）

ソフトウェアの詳しい説明は、「Fine Vision XD Viewer」フォルダ内の「manual.chm」をご覧ください。

ご注意

- 必ずパソコンのハードディスク上にソフトウェアをダウンロード後、インストールしてからご使用ください。
- ソフトウェアを動作させるには、ネットワークカメラとパソコンがネットワークで接続されている必要があります。
- ネットワークカメラの工場出荷時の IP アドレスは 0.0.0.0 になっています。IP アドレスが工場出荷時の状態や不明なネットワークカメラをパソコンと接続してご使用される場合は、ネットワークカメラにある RESET ボタン（→ 15，16 ページ）を１０秒以上（ネットワークカメラの状態表示 LED が点滅するまで）押して、初期設定状態に戻してからご使用ください。
  ネットワークカメラが再起動した後、IP アドレスは初期設定時の 192.168.0.100 になります。
- パソコンの IP アドレスの設定は、ネットワークのプロパティから設定します。
  パソコンの IP アドレスは、ネットワークカメラで設定した IP アドレスとは異なるアドレスに設定します。
  例えば、ネットワークカメラの IP アドレスを 192.168.0.100 と設定した場合、パソコンは 192.168.0.XXX（ただし XXX はカメラと重複しない値）に設定してください。

ソフトウェアとその用途

ソフトウェア名	用 途
Fine Vision XD Viewer	パソコンでネットワークカメラのライブ映像およびレコーダーの記録映像を見るときに使用します。
dsjplayer	「Fine Vision XD Viewer」で映像を表示するための専用 ActiveX コンポーネントです。
IP Cam Indicator Controller	「Fine Vision XD Viewer」でインジケータを表示するための専用 ActiveX コンポーネントです。

使用できるパソコンの条件

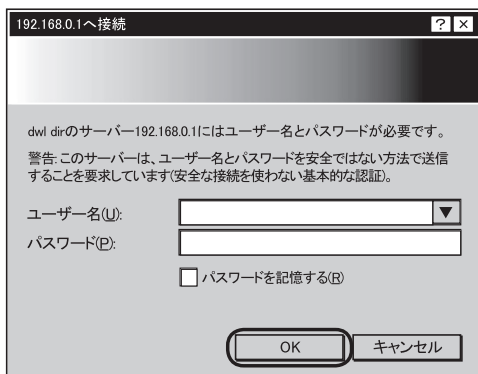
ソフトウェアをご使用いただくには、ご利用のパソコンが次の条件を満たしている必要があります。

OS 32bit 版	Windows® 7
	Windows Vista®
	Windows® XP
	Windows Server® 2003 R2
	Windows Server® 2008
OS 64bit 版	Windows®7 Home Premium
	Windows Server® 2008 R2
CPU	Intel® Core™2Duo 2.4GHz 以上の動作クロックのもの
メモリ	2GB 以上
グラフィック	1024 × 768 ドット 24bit カラー以上
ユーザー権限	制限ユーザー以上。ただし、環境構築時は ActiveX® コンポーネントのインストールに Administrator 権限が必要です。
その他	1024 × 768 ピクセル、24bit カラー以上 で表示可能なモニター (ディスプレイ)
	Internet Explorer® 6.0/7.0/8.0/9.0
	DirectX®9.0c 以降がインストールされていること
	DirectX®9.0c 以降に対応したビデオデバイスを搭載していること

ご注意

• 「使用できるパソコンの条件」を満たしていても、お使いの他のソフトウェアや機器との組み合わせにより、動作に不具合が生じたり、使用制限が生じたりすることがあります。

ソフトウェアのダウンロード

ハイブリッドレコーダー本体内から、「Fine Vision XD Viewer」をダウンロードします。パソコンとハイブリッドレコーダー本体をLANケーブルでつないで、以下を実行してください。

1 パソコンのInternet Explorerを起動し、アドレス入力欄にハイブリッドレコーダーの専用URLを入力します

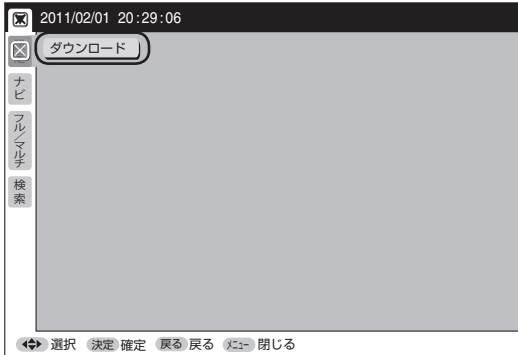
Internet Explorerのアドレス入力欄に「http://xxx.xxx.xxx.xxx./dwl/cgi_dwl_menu.cgi」と入力すると認証画面が表示されます。（実際にはxxx.xxx.xxx.xxx部分にハイブリッドレコーダーのIPアドレスを入力します。）

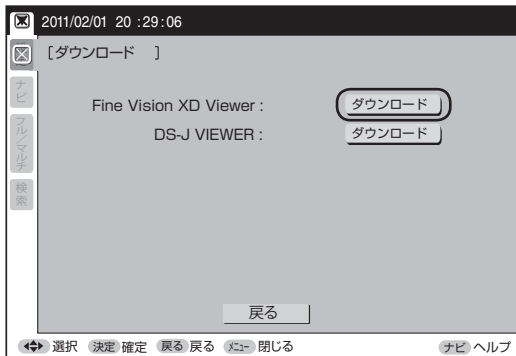
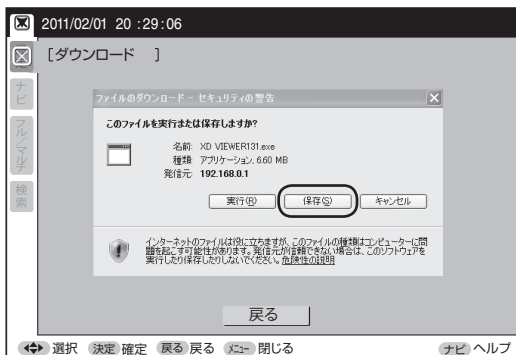
2 特権ログインIDとパスワードを入力し、「OK」を選択します

認証画面に特権ログインIDとパスワードを入力して「OK」を選択します。
特権ログインＩＤは、ハイブリッドレコーダーのメニュー「モードロック」－「特権ログイン」で設定されています。

ご注意
- Internet Explorer 9.0でログインできない場合は、Internet Explorer 6.0～8.0をご使用ください。

「ダウンロード画面トップ」が表示されます。

3 「ダウンロード」を選択し、決定ボタンを押します

「ダウンロードメニュー画面」が表示されます。

4 「Fine Vision XD Viewer」の「ダウンロード」を選択します

5 「保存（S）」を選択し、ダウンロードを開始します

ダウンロードしたファイルをダブルクリックすると、圧縮ファイルが解凍されます。

操作方法は、解凍されたフォルダの「Readme.hta」をご参照ください。

ソフトウェアのインストール

お知らせ

- パソコンの画面はWindows XP Professional Edition(SP3)の画面で説明しています。
- ご使用のパソコンの設定によっては、本書記載のファイル名の”.”から後の文字 (.exe や .hta などの拡張子）が表示されません。
- ソフトウェアのインストールに関する詳しい説明は、「Fine Vision XD Viewer」フォルダ内の「manual.chm」にも記載していますので、そちらをご覧ください。

dsjplayer のインストール

1. **パソコンを起動し、管理者権限のユーザーでログインします**

   インストールは管理者権限のユーザーでないと行えません。

2. **他のアプリケーションを終了させた後、「dsjplayer」フォルダ内のインストールプログラム「setup.exe」を実行します**

3. **Windows Vista、Windows7、Windows Server 2008 にインストールする場合は、ユーザーアカウント制御が表示されますので、「許可（A)」を選択します**

4. **Microsoft Visual C++ 2008 ランタイムライブラリのインストールを促す画面が表示されたときは、「インストール（I)」を選択します**

   すでに Visual C++ ランタイムライブラリがインストールされているときは表示されませんので、次に進みます。

5. **次に「Hitachi dsjplayer」セットアップウィザードが起動するので、「次へ（N）>」を選択します**

6. **「インストール完了」画面が表示されるので、「閉じる (C)」を選択してインストールを完了します**

IP Cam Indicator Controller のインストール

1 **他のアプリケーションを終了させた後、「IP Cam Indicator Controller」フォルダ内のインストールプログラム「IP Cam Indicator Controller Inst.msi」を実行します**

IP Cam Indicator Controller のインストールは、dsjplayer がインストールされている状態で行ってください。

2 **「Hitachi IP Cam Indicator Controller」セットアップウィザードが起動するので、「次へ（N）>」を選択します**

3 **「インストール完了」画面が表示されるので、「閉じる (C)」を選択してインストールを完了します**

Fine Vision XD Viewer のインストール

「Fine Vision XD Viewer」のインストールは、「Fine Vision XD Viewer」フォルダごとパソコンの任意のフォルダにコピーすれば完了です。

ソフトウェアのアンインストール

dsjplayer と IP Cam Indicator Controller のアンインストール

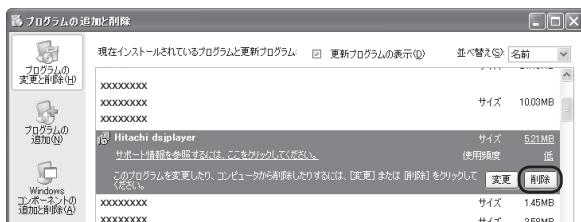
1 **パソコンを起動し、管理者権限のユーザーでログインします**

アンインストールは管理者権限のユーザーでないと行えません。

2 **コントロールパネルを立ち上げます**

「スタート」→「コントロールパネル」の順で立ち上げます。

3 **プログラム追加と削除を実行します**

4 **プログラム一覧から「Hitachi dsjplayer」(dsjplayer を指します) を選択して、削除を選択します**

5 **「削除しますか？」の画面が表示されるので「はい (Y)」を選択します**

6 **「Hitachi IPCamIndicatorController」(IP Cam Indicator Controller を指します) を選択し、削除を選択します**

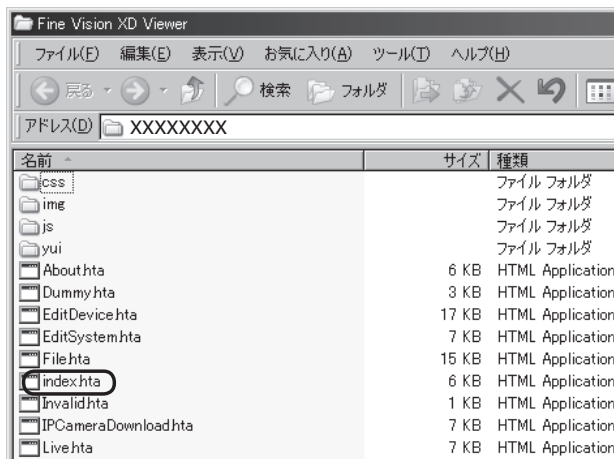
7 **「削除しますか？」の画面が表示されるので「はい (Y)」を選択します**

Fine Vision XD Viewer のアンイストール

「Fine Vision XD Viewer」のアンインストールは、インストール時に任意のフォルダへコピーした「Fine Vision XD Viewer」フォルダを削除します。

ソフトウェアの起動方法

Fine Vision XD Viewer の起動方法

「Fine Vision XD Viewer」フォルダ内の「index.hta」を実行してください。（メイン画面が表示されます。）

使用方法は、「Fine Vision XD Viewer」フォルダ内の「manual.chm」をご覧ください。

カメラが故障かな・・

次のことをお調べください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
お客様ご自身での修理は、事故や故障の原因になります。

症　　状	確認内容	処置方法	参照ページ
まったく映らない	PoE 電源供給装置の電源コードがコンセントに差し込まれていますか？	PoE 電源供給装置の電源コードをコンセントに差し込んでください。	22 23
	ハイブリッドレコーダーの電源コードがコンセントに差し込まれていますか？	ハイブリッドレコーダーの電源コードをコンセントに差し込んでください。	—
	機器間の LAN ケーブルが正しく接続されていますか？	機器間の LAN ケーブルを正しく接続してください。	22 23
	ネットワークアドレス (*1) が合っていますか？	カメラのネットワークアドレスが合っているか、ハイブリッドレコーダーまたはパソコン (ネットワークカメラ設定ツール) を用いて確認してください。 詳細は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。	—
	ホストアドレス (*1) が重複していませんか？	カメラのホストアドレスが重複していないか、ハイブリッドレコーダーまたはパソコン (ネットワークカメラ設定ツール) を用いて確認してください。 詳細は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。	—
	カメラの状態表示 LED（赤）が点滅していますか？	カメラの故障が考えられます。修理をご依頼ください。	14
	アイリスプラグが抜けていませんか？	カメラから LAN ケーブルを抜いて電源を切り、アイリスプラグをアイリス端子に差し込んでから、LAN ケーブルを接続して電源を再投入してください。	—

*1: ネットワークアドレスとホストアドレスについて

例）192.168.0.100

- 100：ホストアドレス
- 192.168.0：ネットワークアドレス

4 故障かな・・と思ったら

症　状	確認内容	処置方法	参照ページ
アイリスプラグがアイリス端子に届かない	レンズの向きが悪くありませんか？	レンズ取り付け部の締め付けがゆるまない範囲で回転させ、プラグと端子の距離を調節してください。	18 19
画面がちらつく	LED 照明の下で撮影していませんか？	LED 照明の下で撮影した場合、LED 照明の制御方法によって画面がちらつく（フリッカー）ことがあります。その場合は、ハイブリッドレコーダーまたはパソコン（ネットワークカメラ設定ツール）を用いて、シャッター速度を以下の設定に変更してください。 • 50Hz 地域（東日本）：1/100 • 60Hz 地域（西日本）：1/60 詳細は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。	12
ピントが合わない	レンズが奥までしっかりと締め付けられていますか？	レンズを取り付け直してください。	18
	フォーカスリング、ズームリングがロックされていますか？	ピント合わせを行ってから、締付けつまみをロックしてください。	24
	リング調節ネジがゆるんでバックフォーカスがずれていませんか？	本書、およびご使用になるレンズの取扱説明書の「フランジバック（*２）の調節」をご確認の上、調節を行ってください。	25
記録映像を再生したとき動く被写体がブレる	シャッター速度が遅くありませんか？	ハイブリッドレコーダーまたはパソコン (ネットワークカメラ設定ツール) を用いてシャッター速度を速く設定してください。 詳細は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。	—

*２: フランジバックについて
　レンズの取り付け面から、撮像素子までの距離のこと。

症　状	確認内容	処置方法	参照ページ
色合いがおかしい	改装などで照明の位置や種類が変わっていませんか？	ハイブリッドレコーダーまたはパソコン (ネットワークカメラ設定ツール) を用いてホワイトバランスを調節してください。 詳細は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。	—
きれいに映らない	レンズにほこりが付いていませんか？	レンズにキズを付けないよう、ブロアブラシなどで、ほこりを取り除いてください。ほこりを取り除いてもきれいに映らないとき、カメラが高所に設置されているときは修理をご依頼ください。	13
明るすぎる	シャッター速度は適正ですか？	ハイブリッドレコーダーまたはパソコン（ネットワーク設定ツール）を用いて、シャッター速度を1/100 秒以上に設定してください。	12
	レンズにアイリスプラグが付いていますか？	ご使用のレンズにアイリスプラグが付いていない（絞りがない）場合、露光制御ができません。4ページに記載の接続確認レンズをご使用ください。	4 19
状態表示 LED（赤）が消灯しない	明るい被写体にカメラを向けたまま、カメラの電源を入れていませんか？	状態表示 LED(赤) の点滅動作をご確認の上、１秒おきに１回点滅（カメラ異常動作時）の点滅動作の場合、以下の対処を順番に行ってください。対処しても消灯しないときは、修理をご依頼ください。 ①明るい被写体が写らないようにカメラのアングルを変更してください。 ②カメラの電源を入れ直してください。	—

4

故障かな・・と思ったら

保証書（別添）について

本製品には保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りいただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から 1 年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

弊社は、この日立監視用ネットワークカメラの補修用性能部品を、製造打切後 8 年間保有しています。性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは（出張修理）

本製品が正常に動作しないときは、「カメラが故障かな・・」（→ 35 ページ）をお調べください。それでも正常に動作しないときは、ご使用を中止し、必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。なお、日立監視用ネットワークカメラの故障もしくは不具合により発生した映像の損失および付随的損害（営業損失などの補償）などの責については、ご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

ご連絡していただきたい内容	
品名	日立監視用ネットワークカメラ
型式	DI-CS211
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

保証期間が過ぎているときは

修理可能と判断した場合には、ご希望により出張対応いたします。

修理料金の仕組み	
技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合があります。
出張代	本製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

保守点検サービスのおすすめ

保守契約を結んでいただきますと、保守契約期間中は保守契約条項により、安心で有利なサービスが受けられます。

- 障害が発生した場合は保守員を派遣して、装置の修復を行うとともに、必要により点検を実施します。
- 詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

日立監視用機器についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、お買い上げの販売店がわからない製品の修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は	商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL 0120 − 3121 − 68	**TEL 0120 − 3121 − 19**
FAX 0120 − 3121 − 87	**FAX 0120 − 3121 − 34**
（受付時間）9:00 ～ 19:00（月～土） 9:00 ～ 17:30（日・祝日）	（受付時間）9:00 ～ 17:30（月～土） 日曜・祝日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます
携帯電話、PHS からもご利用できます	携帯電話、PHS からもご利用できます

- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。
- お客さまが弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録 (録音など) させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

日立インターネット・ホームページ（監視機器）
http://www.hitachi.co.jp/bouhan/
最新情報、別売品などをご案内しております。

5　仕　様

■DI-CS211 本体

型　式		DI-CS211
レンズマウント		CS マウント
センサー	撮像素子	1/3 型 CCD 型固体撮像素子
	有効画素数	約 125 万画素　[1,296 (H) × 966 (V) 画素]
	走査方式	プログレッシブ
	最低被写体照度 (F1.3 のとき)	0.6 ルクス（WIDE 端） 0.04 ルクス（WIDE 端、AGC High、電子感度アップ8倍）
カメラ機能	電子感度アップ	有（最大 16 倍）
	デジタルノイズリダクション	有
	ホワイトバランス	自動（補正有り）
	AGC	自動（LOW、NORM、HIGH）
	モーションディテクタ	有（画像認識方式）
	フリッカー補正	有（自動利得補正方式）
	プライバシーマスク	有（最大８箇所）
	白黒自動切り換え	有（赤外線カットフィルタによる切換）
画像	画像圧縮方式	H.264 または JPEG
	出力画像サイズ (解像度)	S（1280 × 960 ピクセル） A（704 × 480 ピクセル） B（704 × 240 ピクセル）
	フレームレート	S：最大 15 fps A/B：最大 30 fps
通信	通信プロトコル	TCP/IP プロトコル イーサネット (100BASE-TX、10BASE-T)
	ネットワーク層	IPv4/ICMP/ARP
	トランスポート層	TCP/UDP/RTP
	アプリケーション層	HTTP/FTP/POP3/SMTP/SNMP/RTSP/ RTCP/SNTP/DNS
	マルチキャスト対応	有（H.264）
	時計機能	有（内蔵）
	障害通知 / 記録機能	SNMP 機能対応 / ログ機能
	セキュリティ	BASIC 認証
状態表示		状態表示ＬＥＤ（赤）、通信確認ＬＥＤ（黄、緑）
外部入出力		画角調整用映像出力（φ 3.5mm ミニジャック）
使用温度範囲（湿度）		－ 10℃～ 50℃（90%以下、結露なきこと）
電源		PoE
消費電力		約4.4 W
外形寸法		W 73 ×H 61 ×D 110.2mm　（突起部を除く）
質量		約 0.29 kg（レンズを除く）

予告なく仕様を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

■接続確認レンズ

レンズの種類	バリフォーカルレンズ（標準タイプ）	バリフォーカルレンズ（広角タイプ）
型式	YV2.8 × 2.8SR4A-SA2	YV2.7 × 2.2SR4A-SA2
焦点距離	2.8 ～ 8mm（2.8 ×）	2.2 ～ 6mm（2.7 ×）
最大口径比	1:1.3	1:1.3
絞り範囲	F1.3 ～ T360（F360 相当）	F1.3 ～ T360（F360 相当）
包括角度（H×V）	100° 34' × 73° 22'（WIDE）、35° 16' × 26° 26'（TELE）	121° 4' × 91° 20'（WIDE）、45° 51' × 34° 28'（TELE）
至近距離	0.3 m（前玉面より）	
最近接時の撮影範囲（H×V）	73.7 × 45.5cm（WIDE）、20.4 × 15.1cm（TELE）	108.0 × 62.5cm（WIDE）、26.9 × 19.7cm（TELE）
バックフォーカス	8.49mm	8.33mm
フランジバック	12.5mm	
最大消費電流	23mA	
操作方法	フォーカス・ズーム : 手動、アイリス : オートアイリス	
作動電圧	DC 4V	
許容周囲温度	-10 ～ +50℃	
マウント	CS マウント	
全長	54.1mm（突起部を除く）	56.9mm（突起部を除く）
最大鏡筒外形	Φ 40.8mm	Φ 48.8mm
質量（本体）	60g	80g

レンズの種類	バリフォーカルレンズ（長焦点タイプ）	バリフォーカルレンズ（高倍率タイプ）
型式	YV3.3 × 15HR4A-SA2	YV10 × 5HR4A-SA2
焦点距離	15 ～ 50mm（3.3 ×）	5 ～ 50mm（10 ×）
最大口径比	1:1.5	1:1.6
絞り範囲	F1.5 ～ T360（F360 相当）	F1.6 ～ T360（F360 相当）
包括角度（H×V）	18° 29' × 13° 45'（WIDE）、5° 29' × 4° 09'（TELE）	51° 17' × 39° 36'（WIDE）、5° 30' × 4° 07'（TELE）
至近距離	0.8 m（前玉面より）	0.3 m（前玉面より）
最近接時の撮影範囲（H×V）	27.1 × 20.1cm（WIDE）、9.1 × 6.9cm（TELE）	30.4 × 22.8cm（WIDE）、5.4 × 4.1cm（TELE）
バックフォーカス	8.56mm	7.5mm
フランジバック	12.5mm	
最大消費電流	23mA	
操作方法	フォーカス・ズーム : 手動、アイリス : オートアイリス	
作動電圧	DC 4V	
許容周囲温度	-10 ～ +50℃	
マウント	CS マウント	
全長	47.5mm（突起部を除く）	58.6mm（突起部を除く）
最大鏡筒外形	Φ 37.5mm	Φ 40.5mm
質量（本体）	50g	85g

ご購入店名：	後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるときお役にたちます。
電話（　　　－　　　－　　　）	ご購入年月日：　　　年　　　月　　　日

製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際は、製造番号と保証書の番号
が一致していることをご確認ください。

株式会社 日立製作所
〒101-8010 東京都千代田区外神田4丁目14番1号
秋葉原UDXビル

　12-10(I)